

超音波検査(US ; Ultra Sonography、いわゆるエコー検査)

超音波とは・・・

「ヒトが聞くことを目的としない音」と定義されています。

自然界では・・・

コウモリのエコーロケーション

コウモリは喉から超音波を出し、周囲に反射させて、位置情報などの様々な情報を得ます。

医療では・・・

生体内に超音波をあてると臓器・組織から反射(エコー)が返ってきます。医療の分野ではこの性質を利用して画像診断に利用しています。

超音波は放射線ではないので、超音波検査は被ばくを伴わない検査です。

歯科領域では、主に唾液腺・リンパ節・舌などの検査に用いられます。

超音波装置外観



プローブ・・・先端から超音波が出ています。
検査部位や目的によって様々な形状のものがあります。



検査風景

プローブを検査目的部位の皮膚面にあてて検査をします。この時、プローブの皮膚に接触する面にゼリーを塗ります。

これは、プローブと皮膚の間をゼリーで満たすことで空気の混入を避け、体内に超音波が伝わりやすくするためです。

検査中は右図のような画像が装置画面にリアルタイムで表示されます。

